

佐賀県出身の美術家



たていしはるみ 立石春美 ～最後の美人画家～

たていしはるみ
立石春美 (1908-1994) は佐賀市出身の日本画家で、かみら ぎよかた 鏑木清方
や伊東深水いとうしんすいに連なる美人画の流れを受け継ぎました。20歳で上京
し、伊東深水いとうしんすいのもとで腕うでを磨き、帝展や新文展に出品、入選を重ね
ました。上品で静かな美人画が特徴で、豪華な衣装や女性のしぐさ
を繊細なタッチで描きました。その作品は佐賀県立美術館等で見
ることができます。日本画の美しさと伝統を守る心を感じてほしい画
家です。